

キヤノンが20年連続でレンズ交換式デジタルカメラの世界シェア No.1 を達成

キヤノンは、レンズ交換式デジタルカメラ（デジタル一眼レフカメラおよびミラーレスカメラ）の世界市場において、2003年から2022年まで20年連続で台数シェア No.1^{※1}を達成しました。



20年連続でレンズ交換式デジタルカメラの世界シェア No.1 を達成



20年を振り返るショートムービー
URL : <https://youtu.be/4wSMsjUzks0>

キヤノンのレンズ交換式デジタルカメラ EOS シリーズは、「快速・快適・高画質」を基本コンセプトとして、キーデバイスである CMOS センサー、映像エンジン、および交換レンズを独自に開発してきたイメージングシステムです。プロから高い信頼を得ている高性能なフラッグシップモデルから、簡単な操作で高画質な撮影を楽しむことができるエントリーモデルまで幅広い製品ラインアップをそろえています。多彩な表現を可能にする豊富な RF/EF レンズシリーズとともに、お客さまの多様なニーズに応え続けています。

2003年9月、デジタル一眼レフカメラの黎明期（れいめいき）において、画期的な低価格と小型・軽量を実現したエントリーモデル「EOS Kiss Digital」を発売することで、本格的なデジタル一眼レフ時代の幕開けとなる市場拡大の原動力となり、世界シェア No.1 を獲得しました。その後も、プロ向けの EOS-1D シリーズや、一眼レフカメラによる動画撮影を普及させた EOS 5D シリーズなど、時代を切り開く製品を市場に投入してきました。そして2018年10月には、撮影領域のさらなる拡大を実現する次世代のイメージングシステム「EOS R SYSTEM」を立ち上げ、世界初^{※2}の8K動画撮影機能を搭載した「EOS R5」（2020年7月発売）や、卓越した動体捕捉性能と連写性能を発揮する「EOS R3」（2021年11月発売）を発売し、さらに2021年12月には、VR映像撮影システム「EOS VR SYSTEM」を立ち上げるなど、新しい映像表現の可能性を追求し続けています。

2022年は、EOS R シリーズ初の APS-C サイズミラーレスカメラ「EOS R7」（2022年6月発売）、「EOS R10」（2022年7月発売）、先進の高性能 AF や優れた動画性能を実現したフルサイズミラーレスカメラ「EOS R6 Mark II」（2022年12月発売）や、6種類の RF レンズ^{※3}を発売するなど、ラインアップのさらなる拡充を図ることで、2003年から20年連続でレンズ交換式デジタルカメラの世界シェア No.1 を達成しました。

キヤノンは、これからも独自の映像技術に磨きをかけ、EOS シリーズを RF/EF レンズシリーズとともにさらに強化・拡充することで、新たな映像領域を切り開き、写真・映像文化のさらなる発展に貢献していきます。

※1. キヤノン調べ。

※2. 2020年7月8日時点で発売済みのレンズ交換式デジタルカメラにおいて。

※3. 2022年に発売した RF レンズは、「RF800mm F5.6 L IS USM」（2022年5月発売）、「RF1200mm F8 L IS USM」（2022年5月発売）、「RF-S18-45mm F4.5-6.3 IS STM」（2022年6月発売）、「RF-S18-150mm F3.5-6.3 IS STM」（2022年6月発売）、「RF24mm F1.8 MACRO IS STM」（2022年8月発売）、「RF15-30mm F4.5-6.3 IS STM」（2022年8月発売）の6種類。